

戦乱の世に生きた女城主

井伊直虎

Ii Naotora



©光山房

お家断絶の危機に立ち上がった希代の女城主・直虎。優れた政治手腕により、井伊家を守り抜き、再興に導いた“戦国時代のヒロイン”です。

井伊家第22代当主 直盛の一人娘として誕生した直虎。直盛には嫡男がいなかったため、従弟の亀之丞(後の直親)を直虎の許婚とし、井伊家の跡継ぎとする予定でした。ところが、直親の父が今川氏に殺害され、命を狙われた直親は信州に身を隠すことになります。ひとり残された直虎は出家を決意し「次郎法師」と名乗るようになりました。

その後、直親は井伊谷に戻り奥山氏の娘と結婚。待望の男子・虎松(後の直政)が誕生するも、今川氏により直親が謀殺されます。さらに、井伊家の武将が相次いで戦死し、男子は幼い直政のみとなってしまいます。

次郎法師は「井伊直虎」と名乗り、領主となることを決意。直政の後見人として井伊家を支えました。直政は、後に徳川家康の側近として活躍。江戸幕府の樹立に大きな功績を上げた徳川四天王の一人と称されるまでに出世しました。

日本で唯一の湖上を渡るロープウェイ かんざんじ ロープウェイ

	片道		往復	
	大人 (中学生～)	小人 (3才～)	大人 (中学生～)	小人 (3才～)
個人	410円	205円	820円	410円
団体	370円	185円	740円	370円

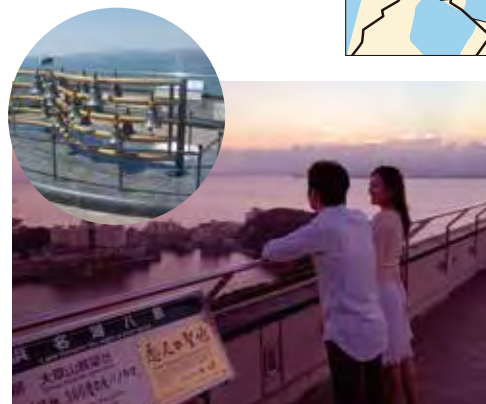
※団体は15名様以上 ※価格はすべて税込

☎053-487-2121 営業時間 9:00～17:30 ※季節により異なります
不定休 ※点検・整備・悪天候時は運休 所要時間:片道約4分 定員:49名(2基)

交通のご案内

- 東名浜松西ICより車で約15分、三ヶ日ICより車で約40分
- JR浜松駅より遠鉄バスで約45分

■車でお越しの際は「かんざんじロープウェイ」駐車場をご利用ください。
(駐車料金 1日800円/1台)



恋人の聖地

大草山展望台からは、ロマンチックな景色を楽しめます

大草山展望台は、「恋人の聖地」として認定されているロマンチックなスポット。毎時00分にはオルゴールの原点でもあるカリヨン(組鐘)の演奏が始まり、展望台は美しい音色で満たされます。

約70点のオルゴールが一同に

浜名湖オルゴールミュージアム

HAMANAKO ORGEL MUSEUM

	入館料		オルゴールミュージアム&ロープウェイ往復セット	
	大人 (中学生～)	小人 (3才～)	大人 (中学生～)	小人 (3才～)
個人	820円	410円	1,450円	700円
団体	740円	370円	1,350円	650円

※団体は15名様以上 ※価格はすべて税込

☎053-487-2121 営業時間 9:00～17:00

※季節により閉館時間が短縮または延長することがありますので、詳しくはお問合せください。
※駐車場がございませんので、ロープウェイでお越しください。
不定休 ※ロープウェイ運休の場合は休館になることがあります。

Ii Naotora

ゆかりの地を望む

浜松直虎

かんざんじロープウェイで
大草山展望台まで登ると…
そこには、井伊直虎が過ごした
井伊谷の景色が広がっていた

浜名湖随一の絶景スポット

大草山展望台

大草山展望台から 井伊直虎 ゆかりの地を望む

かんざんじロープウェイで浜名湖上を渡った先にある大草山展望台。眼下には美しい浜名湖が広がり、360度パノラマの景色が遙か彼方まで広がります。周囲に点在する井伊直虎ゆかりの地も、この展望台から眺めることができます。直虎の人生に思いを馳せながら、井伊家の足跡を辿ってみましょう。



MAP A りょうたんじ 龍潭寺



出家後の直虎が過ごしたとされる、井伊家の菩提寺。直虎、直政など歴代の墓や井伊家ゆかりの品々を有する。小堀遠州が手がけた国指定名勝庭園など、貴重な文化財も保存されている。

浜松市北区引佐町井伊谷1989
☎053-542-0480
時／9:00～16:30
休／8月15日、12月22～27日
料／大人500円、小中学生200円

MAP B ともやす 共保公出生の井戸

寛弘7年(1010)に、井伊家初代の共保公が誕生したとされる井戸。龍潭寺山門の南、田園に囲まれた場所にある。

浜松市北区引佐町井伊谷(龍潭寺門前)

MAP C いいのやじょう 井伊谷城跡

井伊谷を一望できる小高い山に築かれた井伊家の居城跡。井伊谷城とその山麓にあった居館に加え、詰の城である三岳城を拠点としていた。現在は城山公園として整備されている。

浜松市北区引佐町井伊谷城山(城山公園)

浜松市 広域MAP



SOUTH 南方向



眼下に広がる浜松屈指の温泉地・かんざんじ温泉や遊園地バルバル。その先には、雄大な浜名湖と遠州灘が望めます。

MAP E しづじょうあと 志津城跡

正暦4年(993)、藤原共資が築いたといわれる城。遠江国司として居城していた共資は、井伊氏の祖・共保を成人するまで養育したと伝えられている。

浜松市西区村櫛町

MAP F ほりえじょうあと 堀江城跡

大沢基久が居城したのが始まりといわれる。戦国時代には今川氏の配下となりこの地を守った。永禄12年(1569)、遠江へ侵攻した家康と攻防戦の末、和睦に応じた。※現在は、遊園地浜名湖バルバルとホテル九重の敷地になっている。

浜松市西区館山寺町

直虎が法要に訪れた地

家康の攻撃により、堀江城の属城・堀川城と堀江城では多くの戦死者を出した。後に、龍潭寺住職の南溪和尚と、出家中の直虎が法要に訪れたと伝えられている。

EAST 東方向



①三方ヶ原古戦場



徳川家康ゆかりの地が点在する、浜松城周辺エリアが見渡せます。快晴の日には北東方向に富士山が見えることも。

出世大名 家康くん

MAP G 浜松城



浜松市中区元城町100-2 ☎053-453-3872
時／8:30～16:30 休／12月29日・30日・31日
料／大人(高校生以上)200円 ※中学生以下は無料

MAP H ひくま 引間城跡 (浜松元城町東照宮)



岡崎から浜松へと拠点を移した家康は、引間城を拡大し城名を浜松城と改めた。現在、引間城の跡地には浜松元城町東照宮が建っており、出世の聖地と呼ばれている。

浜松市中区元城町111-2

MAP I



井伊直政尊像
(龍潭寺所蔵)

徳川四天王にまで出世した井伊直政

天正3年(1575)、15歳の虎松(直政)は家康の小姓になり万千代と名乗るようになった。その後、数々の武功を積み、諸大名からは「井伊の赤備え」と恐れられた。

立体 しかみ像

「徳川家康三方ヶ原戦没画像」、別名「しかみ像」の立体像。浜松市博物館に展示されている。



幼少の頃の豊臣秀吉も訪れたといわれる引間城。家康と秀吉のブロンズ像(二公像)が設置されている。